

りゅうおう

No.188

2019年8月1日
滋賀県竜王町議会

議会だより

夏の涼を満喫する
園児たち

関連記事
P16

- | | | |
|-------|-----|------------------------------|
| 定例会報告 | P2～ | プレミアム付商品券発行予定 |
| 委員会報告 | P4～ | コンパクトシティ化構想(案)
住民意見交換会始まる |
| 一般質問 | P8～ | 健康増進と認知症対策は |
| 追 跡 | P15 | 住宅整備の進捗は |
| シリーズ | P16 | いきいき人生 |

定例会で何が決まったの？

元号が平成から令和になって初めての定例会を6月4日から20日までの17日間の会期で開催しました。10月から消費税率が8%から10%に引き上げられる予定に伴い、同じ時期に幼保無償化、プレミアム付商品券が発行予定、それに関連する補正予算も提案されました。

補正予算3議案、条例関係1議案、専決処分2議案、人事案件1議案、その他1議案を原案どおり可決・承認・同意しました。

令和元年度 補正予算

一般会計

今回の補正額は、
3282万円の増額で、
予算総額は、
64億5682万円です。



ひまわり保育園

地域安全対策事業 (防犯カメラ設置工事)

一般会計 60万円



竜王小学校グラウンド前県道沿い

委託料 一般会計562万円

幼稚園、保育所、認定こども園などを利用する3歳から5歳児のすべての子どもたちと、0歳から2歳児の子どもたち（住民税非課税世帯に限る）の利用料が無償化されることに伴うシステム改修委託料です。

子ども・子育て支援 システム改修業務

主な内容(事業)

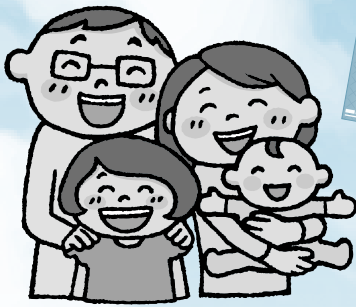
道の駅竜王かがみの里

登記事務委託料
(用地取得準備)

一般会計 580万円



駐車場の造設予定地



問 商品券の転売防止のため、販売店には対象者情報はあのか。

答 今回は対象者が限定されているため、個人情報保護の観点から、商品券を持っている方を対象者として取り扱う。

**低所得者・子育て世帯が対象
取扱業務委託料 一般会計915万円**

低所得者・子育て世帯の消費に与える影響を緩和することを主な目的に、プレミアム付商品券が発行される予定です。

竜王町では、1800人余りの方が対象となり、この商品券は、購入額2万円を上限として、2万5000円分の買い物ができます。

プレミアム付商品券 発行される

高齢者福祉施設等整備事業 (認知症高齢者グループホーム)

一般会計(債務負担行為)
4115万円



町内のグループホーム

債務負担行為

1つの事業や事務において、あらかじめ今後の年度の債務(「負担＝支出」)を約束することを予算で決めておくこと。



近江うし丸

下水道事業会計

問 農村下水道使用料の改正を早急にするべきではないか。

答 料金に係る改正なので、地元や上下水道事業運営委員会などとも協議して進める。

**歳入 下水道使用料・過年度損益修正益
277万円**



殿村地区農村下水処理場

総務産業建設常任委員会

調査

コンパクトシティ化構想(案)

10年後の竜王町中心核の構想、コンパクトシティ化構想(案)の各ゾーン分けが整理できたので、町全体で意見交換会を開催し、より熟度の高い構想にしていく。

各ゾーンの整理状況

『交流・文教ゾーン』

小学校(防災施設・コミュニティ空間を含む)、幼稚園、学童保育所、給食センター等

『商業ゾーン』

フレンドマート、100円ショップ、ドラッグストア、民間医療施設

『行政ゾーン』

総合庁舎、防災センター、商工会館等

『居住ゾーン』

戸建て住宅、集合住宅

『複合ゾーン』

飲食店、カフェ、ホームセンター
民間医療施設、塾、バスターミナル等

意見交換会の実施

- 7月25日～8月5日(この間の5日間実施)
- 開催場所 山之上・弓削・鶴川・鏡・町公民館の5か所

主な質疑応答

問 構想地域の農業振興地域の除外は、できるのか。

答 優良農地を中心核として変えていくことを町民の合意を得た上で、折衝していきたい。



役場南方面からのぞむ中心核

調査

第6次竜王町総合計画の進め方

10年後の竜王町のあるべき姿を考え、その実現に向けてまちづくりを進めていくための総合的な指針として、第6次総合計画を策定する。

第5次総合計画は、平成23年度から令和2年度までとなっており、今日の人口減少、高齢社会、第4次産業革命など様々な社会情勢の変化や第5次総合計画の進捗状況の評価を行い、その結果を踏まえ、第6次総合計画を策定する。

支援業務

業務委託業者は6月12日にプロポーザル方式で決定。

計画策定体制

総合計画審議会、庁内策定委員会、庁内ワーキングチーム、町民ワークショップの実施。

今年度の取り組み

現状把握調査、住民意向調査、庁内各課・地域・団体・学校・企業等ヒアリング。

主な質疑応答

問 第5次総合計画と第6次総合計画の施策で大きく変わる内容は何か。

答 人口問題への施策です。人口が減る中で、どのようなまちづくりをするかが施策の内容になる。



竜王町第五次
総合計画の表紙

教育民生常任委員会

調査 竜王町健康づくり活動

健康づくり、りゅうおう健康ベジ7チャレンジ等の事業の調査を実施した。

保健師活動の充実

平成27年より保健師活動の指針を定め、3つの柱をもとに活動を推進している。

- ①保健師の地区担当制の導入
- ②体系的人材育成
- ③統括保健師の配置

りゅうおう健康ベジ7チャレンジ

竜王21プラン（後期計画）に基づき、5年間で次の重点テーマに取り組む。

- 1年目（H30年度）…栄養・食生活（2年目以降も継続）
- 2年目（今年度）…血圧の取り組み、歯と口腔の健康
- 3年目（R2年度）…禁煙推進、受動喫煙の防止、こころの健康づくり
- 4年目（R3年度）…運動・身体活動
- 5年目（R4年度）…健診受診の促進、適正飲酒の推進



りゅうおう健康ベジ7チャレンジの啓発用のぼり

主な質疑応答

問 血圧計の貸出条件や設置場所は。

答 個人が継続して使用される場合や各地区で大勢が使用される場合に貸出す。
設置場所は、庁舎1階の町民室、町公民館、町図書館、町保健センターと各ふれあいプラザ。

今年度の重点取組

①血圧チャレンジ…血圧測定の習慣化、高血圧予防方法の実践

主な取組み

- 血圧講座…出前講座での啓発、参加者の血圧測定
- 血圧測定…血圧計の地区への貸出、公共施設への設置
- 健康相談…妊婦や希望者へ保健師等による保健指導
- 健康推進員による血圧チャレンジ…地区活動で血圧測定等の実施

②カミチャレ30・ブクチャレ30

主な効果

- カミチャレ30（1口30回噛む）
 - ・満腹感が得られ肥満を防ぐ
 - ・味覚が発達、脳の働きが活発になる
- ブクチャレ30（1回30回うがい）
 - ・口の中を清潔にする
 - ・頬を動かす事により噛む力、飲み込む力のトレーニングになる



自治会館での血圧測定（美松台）

総務産業建設常任委員会

視察

日本一の子育て村構想を核とした定住促進の取組

5月16日、全国に先駆けて「人口減少に歯止めを掛ける」3つの構想を实践され成果を上げている島根県邑南町を訪れ、視察研修を行った。

1. A級グルメ構想

- 食と農に関する5名の起業家輩出
(実績：平成27年度末に27名)
- 定住人口200名の確保
(実績：平成27年度末に213名)
- 観光入り込み客数100万人の実現
(実績：平成27年度末に92万人)

2. 日本一の子育て村構想

- 子育て世代への手厚い補助や助成の実施とともに、各種保育の無料化に取り組んだ結果、平成27年に合計特殊出生率2.46%、出生数70名の達成。

3. 徹底した移住者ケア構想

- U・Iターン者は平成27年に100名に達する。

感想

若者の気持ちを町が受入れ、定住後のケアも住民自らの地域コミュニティの自立による実践がされていた。



邑南町で説明を受ける委員

教育民生常任委員会

視察

認知症予防の取組

5月24日、高齢化が進む本町の介護予防への取組みをより充実させるため、先進地である東京都町田市で視察研修を行った。

自主グループ育成の事業

● 脳いきいき教室

参加者が脳機能検査を受けた後、ウォーキング、旅行・料理から選択したテーマ学び、半年後に再度、脳機能検査を受けて効果を測定する。

教室の参加者は自主グループの活動へと移行し、現在、約80グループが活動し、グループ交流会などが行われている。

家族介護者教室・交流会

- 笑いヨガ、福祉用具体験、成年後見制度の講座や介護者交流会が開催されている。

高齢者探索サービス・認知症カフェ

- GPSを利用した位置情報探索サービス
- コーヒー店と提携した認知症カフェを毎月開催。

感想

各活動を通じて自主グループへ、さらにはグループ交流へと繋いでいく仕組みづくりに、認知症の方々が自ら考え活動できる市の後方支援が重要であることを学んだ。



町田市で説明を受ける委員

地域活性化特別委員会

調査

空き家対策

空家等実態調査を実施し、空き家および空き地数等を把握する。

(6～7月頃、自治会長に調査を依頼)

その他の対策は次のとおりである。

- **特定空家等認定基準の策定**
先進自治体等の事例を参考に策定する。
- **空家等対策アクションプログラム策定**
重点的に取り組む事項や具体的な行動を示す。
- **空家等情報バンク設置準備**
空き家等の利活用に向けて宅建協会等の関係団体と協議を行う。

主な質疑応答

- 問 使用できないような空き家の数は掴んでいるのか。
- 答 自治会への調査依頼の中で状況、管理状態も聞いて把握している。
- 問 空き家で売り物件となっていたものを壊して新築した場合、住まい助成制度の対象か。
- 答 空き家の解消となる場合は、対象となる。

住まい助成制度の利用状況

(令和元年6月現在の実績)

- 新築補助 5件
- リフォーム補助 7件
- 家賃補助 5件

この補助制度の申し込みは12月27日まで延長されている。



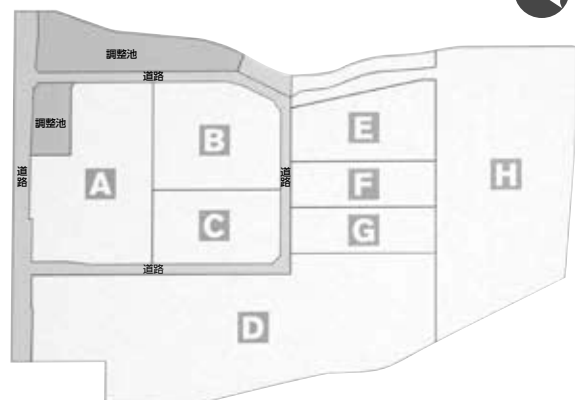
キッチンのリフォーム前(上)、リフォーム後(下)

報告

滋賀山面工業団地の進捗

平成31年4月に最後の1区画の売買契約の締結があったことから、すべての区画で売買契約が締結された。

現在10区画の内、4区画で操業されている。他1区画については建設中、5区画は未着手の状態である。



滋賀山面工業団地の10区画 (D区画は3区画分)

建設が進む滋賀山面工業団地

町政 ここを問う!

6月定例会では10議員が
12問の一般質問を行いました。

ページ	質問者	質問事項
9	森山 敏夫	公共交通システムの構築は実現するのか
	山田 義明	健康増進と認知症対策は
10	内山 英作	健康寿命延伸に向けての取組みは
		運転免許証返納者への外出支援対策は
11	貴多 正幸	国道477号の整備は
	松浦 博	町道山中谷田線の拡幅は
12	小西 久次	教育施設の基本方針は
		まちづくり事業の継続は
13	若井 猛志	本町の教育・保育の無償化は
	古株 克彦	広谷川河川改修工事は
14	森島 芳男	河川愛護対策を
	岡山 富男	幼稚園・保育園児散歩コース等の点検は

一般質問って？

町の行政全般について
議員が町長をはじめとして
担当部局に疑問点を質したり、
見解などを尋ねたりするもので、
毎定例会で行われるよ

一度、傍聴に来て下さい！

議会ではどんな政策が審議されているか、あるいは自分が
選んだ議員がどのような活動をしているかなど、傍聴
は議会の動きに触れることのできる身近な方法です。

議会事務局（☎58-3713）にお問い合わせ下さい。

次回の一般質問は 8月28日(水)予定



近江うし丸

問 公共交通システムの構築は実現するのか

答 今年度中に公共交通のあり方を取りまとめる



森山 敏夫 議員



近畿運輸局との「地域連携サポートプラン」協定の締結

問 公共交通システムについて、次の4点伺う。
① 京大交通施策研究ユニット「電王町バス活性化支援事業」の内容は。
② 近畿運輸局の地域連携サポートプランの内容は。
③ NPO法人再生塾のアドバンスドコースによる交通政策課題研修報告の内容は。
④ 公共交通システム構築に関して地方創生交付金を活用する取組は。

答 ① 従来の利用促進事業を継続すると共に企業と連携した通勤定期の利用促進が効果的との提案。
② 現在は、町内移動に特化した運行がない。タウンセンターを起点とする町内交通の整備が必要との提案。
③ アプリを活用した地域での支え合いによる交通手段の仕組みづくりと移動コーディネートターの設置を提案。
④ まずは個別の交付金の活用を検討。関連交付金の活用も視野に入る。



山田 義明 議員

問 ① 地区毎に健康課題や特徴を経年的にまとめ、

答 平均寿命の延びによる高齢化が進む中、現役世代からの健康増進と、高齢期からの認知症の発症が心配される。本町での取り組みを問う。
① 取組みの見える化は。
② 現役世代への取組みは。
③ 認知症への予防と対策は。

答 情報提供と社会参加を進める

問 健康増進と認知症対策は

健康推進員や地区のリーダーへの情報提供。介護予防で認知症の発症リスクを軽減する社会参加等の促進。
② 19歳～39歳の方に若年健診を実施し、結果を面談にて返却し、生活習慣の見直しを行っている。
③ 生涯現役事業で誰もが参加しやすい仲間づくりや体を動かす講座をすすめている。
また、認知症での行方不明者の防止では、申請により行方不明のリスクの高い方には相談にて、近江八幡警察署と顔写真等データを共有したり、民間会社のGPSの貸出サービスに関する情報提供を行っている。



りゅうおう健康ページ7チャレンジ啓発ポスターの一部

問 健康寿命延伸に向けての 取り組みは

答 りゅうおう健康ベジ7チャレンジを推進



内山 英作 議員



血圧測定中

問 厚生労働省の公表によると、わが国の健康寿命は、2016年に男性72・14年、女性74・79年である。この健康寿命と平均寿命の差は男性で約9年、女性で約12年であり、今後は健康寿命を延伸し、平均寿命との差を縮めることが重要となる。

そこで、健康寿命の県内1位をめざしての町の取り組みは何か。



血圧測定後の健康体操

答 昨年度から「りゅうおう健康ベジ7チャレンジ」を実施し、野菜350g摂取や塩分7g未満、7つの取り組み内容を様々な機会や場所を活用して積極的に周知、啓発をしてきた。また、取り組みの中で健康推進員の意識が変化し、各地区で自発的に活動を計画し、活動の機会が増えている。また今年度は、高血圧症の人が男女とも多いことから、減塩の取り組みと共に、血圧測定の習慣化を進める「血圧チャレンジ」を行っている。

問 今後、運転免許返納者に対しての対応策を考えるにあたり、公共交通として、日常の買い物や通院など生活の拠点となる施設への移動手段をまづ整備することが必要である。現在、町ではコン

問 最近、高齢運転者の交通事故が増加する中、事故を起こしてからは遅いので、早めに運転免許証を返納する人が増えている。今後、本町でも免許証返納者が増加し、町民の生活に即、影響が出てくるため、早急な対策が必要になる。そこで、免許証返納者への外出支援対策はどう考えているのか。



林自治会の送迎サービス(上)や福祉有償運送(下)は地域の交通ネットワークの一翼を担っています

パクトシティ化構想を検討しており、誰もが中心核へ訪れることができる地域と中心核をつなぐ交通ネットワークの整備が必須である。免許証を返納した方はもとより、自家用車以外で移動される方が生活に不安のない交通体系の実現に向けて、今年度中を目標に竜王町らしい公共交通のあり方をまとめる。

問 運転免許証返納者への
外出支援対策は
答 生活に不安のない交通体系の実現を
めざす

問 国道477号の整備は

答 鋭意努力していく



貴多 正幸 議員



国道477号の狭小部（鏡地先）

鏡地先の狭小部は、最終的な用地取得完了後の拡幅工事にあわせ、実施していただく。街灯整備については、西横関交差点および狭小部の改良にあわせ、防犯灯の設置を検討していく。

問 国道8号と国道477号 西横関交差点は、くい違い交差点は、平面交差点であり、事故危険箇所、主要渋滞箇所にも指定されているため、今般、交差点改良がされることになった。

また、街灯については竜王町側も近江八幡市側も設置されておらず、交差点改良をされるこの機に、道路幅員、歩道・街灯の設置を整備する必要があるのではないかと。

答 拡幅については、道路管理者である県において約90mの間は拡幅工事に着手していただき、残りの約45m区間については、用地取得に向けて調整を行ってもらう。歩道については、西側に整備する予定であり、最終的な用地取得完了後の拡幅工事にあわせ、実施していただく。街灯整備については、西横関交差点および狭小部の改良にあわせ、防犯灯の設置を検討していく。



松浦 博 議員

問 町道山中谷田線の拡幅は

答 喫緊の課題であるが中長期的に検証する

問 町道山中谷田線の拡幅について伺う。

①現在の道路幅員を均一に拡幅できないか。
②谷田川沿いの農道をアスファルト舗装し自転車通学路として安全面の確保ができないか。

答 ①谷田川の堤防道であるため、圃場側に拡幅することが考えられる。しかし、この道路には上水道の送水管と配水管が埋設されており、本町全域に影響する重要な基幹管路である。現状での改修は困難な状況だが、交通量が増加していることから、まずは現状の中でできる範囲の交通安全対策を行う。



町道山中谷田線の現状

②町道山中谷田線の通学の自転車交通と自動車交通を分離することは交通安全対策としては有効性がある。ただし、農道であり、農耕車とも輻輳することから、地元との調整が必要である。

問 教育施設の基本方針は

答 2025年度竜王小学校の開校を目指す



小西 久次 議員

問 7月からコンパクトシティ化構想案を取りまとめるため、町内で住民説明会が開催されるが、「竜王町の教育施設の今後のあり方についての検討結果報告書」の提言を踏まえ教育施設の基本方針をどのように考えているのか。

答 竜王町教育施設の今後のあり方検討委員会の報告は、『①竜王小学校は長寿命化改修でなく建て替える。②建替えにおいて、現段階では竜王西小学校との統合は考えない。③建替えに当た



昭和46年開校の竜王小学校

り、小学校を核とした複合施設となるよう考える。④現在の場所では敷地に限界があるので新しい場所を考える。⑤他の施設との相乗効果や有効利用を考え、役場周辺であるタウンセンターエリアを前提とする。』との提言であった。町として検討結果を尊重しつつ、基本方針決定のため検討・議論している。早期に基本計画策定に着手し、基本設計・実設計を経て、現時点としては、2025年度に新しい竜王小学校の開校を目指して進めていきたいと考えている。

問 まちづくり事業の継続は

答 事業効果を踏まえ今後も継続する方向

問 平成28年度から国の補助を受けスキヤキプロジェクト事業（ブランド化、観光・農業・六次化支援等）で町の活性化が図られたが、次の点について伺う。
①本年度で補助事業完了となるが、今後の事業継続の方針は。
②今日までのスキヤキプロジェクト事業の事業費と成果は。
③株式会社パーク竜王に委託し事業展開されたがその成果は。
④国は補助事業期間として、町の事業継続のための制度を考えているが実態は。

答 ①「スキヤキ」で魅力ある町内特産品の地産地消の促進、来訪者や首都圏への発信、六次産業化の推進に向け継続

しているが、手法の見直しや方向性の修正を加え継続していく。
②4年間の総事業費は1億3000万円で田園資料館の改修、農業支援、首都圏でのPRなどができた。
③機動性を生かし、統一

ブランド商品の開発、大型商業施設と町内集客施設への誘客、農産物ブランド化ができた。
④補助事業により魅力発信の推進のきっかけができ、今後は事業課題の解決のための新たな交付金財源を探る。



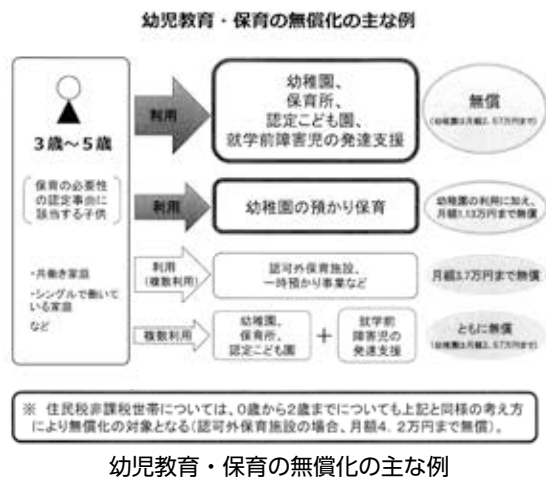
アウトレットでの農産物販売

問 本町の教育・保育の無償化は

答 施行は本年10月1日から



若井 猛志 議員



問 幼児教育・保育の保育料の無償化が予定されているが、負担の多い0歳児から2歳児の住民税非課税世帯以外への、町独自の負担はないのか。

保育所の給食費も、無償化にしている自治体も増えている。給食は、教育・保育の一環であり公費負担は、当然と思うがどのように考えているのか。

認可外保育施設も町の財政負担はないのか。

答 現時点で町独自に無償化や軽減等を行う予定はしていない。

保育所の保育料は世帯の所得に応じて8段階に区分しており、一定所得以下の世帯においては、第2子が半額、第3子以降は無料となる軽減措置がある。

給食費については、他の市町の動向も注視しつつ、子育て支援の視点も踏まえ今後の方向性を考えたい。

認可外保育施設の無償化に伴う町の財政負担は、必要額の4分の1を負担することとなる。



古株 克彦 議員

問 広谷川河川改修工事は

答 短い区間ながら徐々に進む

問 広谷川の河川改修工事は現在、県単独工事で行われている。

①平成28年度に町道葉師不動尊線間の函渠工の工事が行われた。その後の工事進捗状況は。

②広谷川が全線改修しないと湧川に負担が多くなっている。小口工業地域で今、大規模な造成工事が行われているが、最近のゲリラ豪雨対策は。

答

①平成29年度に函渠工の上流側100m区間について、繁茂した竹木の伐採が行われた。平成30年度は平成31年1月末から6月にかけて、函渠上流側30mの区間について、流路工の整備を行っている。今年度は残工事区間約270mのうち約50mの区間で、流路工の整備の予定。

②開発工事の雨水排水計画については、50年確率の降雨に耐えられる規模の調整池が計画されており、湧川等流末河川に負担をかけないよう、開発区域から流出する水量の調整が行われる。



改修を待つ広谷川

問 河川愛護対策を

答 県に対して支援要望する

問 各自治会で、河川愛護が行われる時期となったが、作業には高齢者もあり、重労働となっている。例えば、日野川堤防では、急斜面な所、獣害による大きなくぼみ等があり、高齢者だけでなく誰もが大きなケガや事故に遭う可能性がある。今後、本町全体の対策を打つべきではないか。



森島 芳男 議員

答 行政として、河川愛護活動への支援、草刈り等の作業に支障となる獣害によるくぼみ等について、対応している。継続した取組みを行うためには、作業負担の軽減や、安全の確保に努め、大型除草機械等の使用を増や



河川愛護中の日野川堤防

問 幼稚園・保育園児散歩コース等の点検は

答 安全管理の徹底を図る



岡山 富男 議員

問 大津市県道交差点で、園児2人が死亡する痛ましい事故を受け、当市では散歩コースの安全点検をされた。本町では、園児の散歩時の危険箇所は事故以来どのような点検をしたのか。

答 幼稚園・保育園児の散歩コース等の点検については、各園における点検と併せて、町としても町内22箇所の幼小中学校通学路交差点および保育



安全に横断歩道を渡る幼稚園児

園散歩コースについて点検を行った。交通量の多い国道477号西川西交差点にはクッションドラムを設置し、全体の取りまとめを行い、対応について県に要望した。

今後、このような事故が起こらぬよう校園外活動時の安全管理の徹底を図るとともに登下校時の交通安全も含め、学校と家庭・地域、そして関係機関等が連携・協働して、地域ぐるみで見守れるよう取組みを進めていく。



あの一般質問はその後どうなった??



議員の質問に、町がその後どのように対応したかを追跡・検証してみました。

人口減少の歯止めは 住宅整備の進捗は

(平成31年3月定例会より)

問 人口減少の歯止めは。

答 ソフト・ハードの更なる施策により取り組む。

問 転勤者に対する住宅整備は。

答 民間開発による住宅整備を行う。

平成25年度から「定住促進住宅新築・リフォーム助成事業」が実施され一定の効果があった。

令和元年度は新規にアパート等の家賃補助を行う。

◎その後

小口市街化区域で、2棟のアパートが完成したが、利用者が増え、現在、更に2棟のアパートを建設中。(令和元年12月完成予定)
今後、コンパクトシティ化構想(案)により、2030年頃を目途に居住ゾーンの整備を行う計画。



建設が進む2棟のアパート (小口地先)

須恵地先の町有地に住宅を

(平成28年3月定例会より)

問 人口減少に歯止めをかけるため、町内に点在する町有地、特に須恵地先の町有地を活用して集合住宅を計画してはどうか。

答 定住促進に向けた住宅開発を目的とし、売却先を選定し、町内企業に売却した。

◎その後

開発申請等の許可を受け、平成31年1月より側道等の工事が始められた。現在、住宅の基礎工事等が行われている。



着工した町内企業の独身寮 (須恵地先)

いきいき人生

No.36

東出在住
てらで きよし
寺出 清司 さん

仲間と一緒に、農業を！



左から2人目が寺出さん

私は定年後、老後は田んぼでもしながら、のんびりと暮らそう!と思っていましたが、地元の営農組合より「これからも農業続けますか」、「後継者はおられますか」、「農業機械の更新の予定はありますか」といったアンケート調査があり、それをきっかけに、「農業は続けたいが新しく機械を買うほどの体力は

無い」といった仲間4人が集まり、農業を続けていくために、まずは自分達のできる範囲で協業での水稲栽培(4.0ha)をスタートしました。

それから早や12年目を迎え仲間も6人に増え、離農された方の田んぼを借り受け、今では13.6haにまで広がり、今年は「環境こだわり米」を中心に約9.0haを作付しています。

最近、「老人ホームで農作業」といった新聞記事を見つけ、年齢を重ねても、土に触れることや働くことへの生きがいは不変であると、自分達も同感をいたしました。

地元の営農組合も5年前、法人化され、水稻を除き、麦・大豆・飼料用米の栽培と忙しく活動されています。私達6人の活動も地元の水田をはじめ農業そのものを守る一助となれればと考えています。

農業だけでなく、高齢化への課題は山積していますが、一方、人生80年、100年時代と言われています。これからも、一緒に頑張ってきた仲間や地元の皆さんとの関わりを大切に、毎日を楽しく、健康で土に触れる百姓ができればと願うばかりです。

表紙

笑顔はじけるプール遊び

太陽の日差しが強い季節となった7月上旬、竜王幼稚園にはプール遊びを楽しむ園児の姿がありました。最初はまだ水に慣れずに少し緊張した面持ちの園児も、お友達と一緒に勇気が湧いてきます。最後には伸び伸びと体を動かし、水の感触を思う存分楽しむ姿が見られました。

今年も園のプールは、夏の涼を満喫する園児たちの響き渡る歓声とはち切れんばかりの笑顔でいっぱいになっていました。

子どもたちの笑顔を見ていると、こちらまで元気になるですね。



編集後記

年々厳しさを増す夏の暑さ。熱中症にかかる人が急増しています。熱中症は子どもや高齢者だけでなく若い人にも起こり、命にかかわることもあります。猛暑を元気に乗り切る水分補給は、
①のどが渇くまえに飲む ②1時間に1回程度 ③天然水か麦茶が良いと言われています。
熱中症かなと思ったら、涼しいところに避難して、衣服をゆるめ、首、わき、太ももの付け根を冷やすと良いと言われています。

8月の中旬以降になると、稲刈りも始まります。
暑さに負けない食事を十分にとって、夏を乗り切りましょう。

若井記

議会広報特別委員会

委員長	内山 英作
副委員長	古株 克彦
委員	菱田 三男
委員	小西 久次
委員	若井 猛志
委員	貴多 正幸